

1

数列 $\{a_n\}$ が $a_1=0, a_2=1, a_{n+2}=(1-\alpha)a_{n+1}+\alpha a_n$ ($n=1, 2, 3, \dots$) を満たす。
ただし、 α は $0 < \alpha < 1$ を満たす定数である。

- (1) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。
- (2) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{2}{3}$ となる α を求めよ。

2

n を自然数, $r > 1$ とする。 $a > 0, n \geq 3$ のとき、不等式 $(1+a)^n > \frac{1}{6}n(n-1)(n-2)a^3$ が
成り立つことを用いて、極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n^2}{r^n}$ を求めよ。

3

無限級数 $3 - \frac{5}{2} + \frac{5}{2} - \frac{7}{3} + \frac{7}{3} - \frac{9}{4} + \dots + \frac{2n+1}{n} - \frac{2n+3}{n+1} + \dots$ の収束、発散について調べ、収束する場合は、その和を求めよ。

4

円 $C_1: x^2 + y^2 = 1$ に内接する正方形の面積を a_1 とする。つぎに、この正方形に内接する円 C_2 を作成し、 C_2 に内接する正方形の面積を a_2 とする。このような手順にならない、正方形に内接する円 C_n ($n \geq 3$) を順次作成し、 C_n に内接する正方形の面積を a_n とする。
無限級数の和 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$ を求めよ。

5

$\lim_{x \rightarrow 1} \frac{a\sqrt{x+3} - 8}{x-1}$ が有限な値になるように定数 a の値を定め、そのときの極限値を求めよ。

6

関数 $f(x) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{ax^{2n-1} - x^2 + bx + c}{x^{2n} + 1}$ が x の連続関数となるための定数 a, b, c の条件を求めよ。ただし、 $a > 0$ とする。

1

解答 (1) $a_n = \frac{1 - (-\alpha)^{n-1}}{1 + \alpha}$ (2) $\alpha = \frac{1}{2}$

2

解答 0

3

解答 発散

4

解答 4

5

解答 $a=4$, 極限值 1

6

解答 $a=b, c=1$

1

(1) 与えられた漸化式を変形すると $a_{n+2} - a_{n+1} = -\alpha(a_{n+1} - a_n)$

$\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると $b_{n+1} = -\alpha b_n$

また $b_1 = a_2 - a_1 = 1$

数列 $\{b_n\}$ は、初項 1, 公比 $-\alpha$ の等比数列であるから、一般項は $b_n = (-\alpha)^{n-1}$

$n \geq 2$ のとき $a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 0 + \sum_{k=1}^{n-1} (-\alpha)^{k-1} = \frac{1 - (-\alpha)^{n-1}}{1 + \alpha}$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1 = \frac{1-1}{1+\alpha} = 0$ となり、 $n=1$ のときも成り立つ。

よって $a_n = \frac{1 - (-\alpha)^{n-1}}{1 + \alpha}$

(2) $0 < \alpha < 1$ より、 $-1 < -\alpha < 0$ であるから $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = \frac{1}{1 + \alpha}$

ゆえに、 $\frac{1}{1 + \alpha} = \frac{2}{3}$ を解いて $\alpha = \frac{1}{2}$

2

$r = 1 + a$ とおくと、 $r > 1$ より $a > 0$

$a > 0, n \geq 3$ のとき、 $r^n = (1 + a)^n > \frac{1}{6}n(n-1)(n-2)a^3$ であるから

$0 < \frac{1}{r^n} < \frac{6}{n(n-1)(n-2)a^3}$ よって $0 < \frac{n^2}{r^n} < \frac{6n}{(n-1)(n-2)a^3}$

$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{6n}{(n-1)(n-2)a^3} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\frac{6}{n}}{\left(1 - \frac{1}{n}\right)\left(1 - \frac{2}{n}\right)a^3} = 0$ であるから、はさみうちの原理により

$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n^2}{r^n} = 0$

参考 $a > 0, n \geq 3$ のとき、 $r^n = (1 + a)^n > \frac{1}{6}n(n-1)(n-2)a^3$ であることの証明

二項定理により $(1 + a)^n = \sum_{k=0}^n {}_n C_k a^k$

$a > 0, n \geq 3$ のとき、 ${}_n C_k a^k > 0$ ($k=0, 1, 2, \dots, n$) であるから

$(1 + a)^n = \sum_{k=0}^n {}_n C_k a^k > {}_n C_3 a^3 = \frac{1}{6}n(n-1)(n-2)a^3$

3

$S_{2n} = 3 - \frac{5}{2} + \frac{5}{2} - \frac{7}{3} + \frac{7}{3} - \frac{9}{4} + \frac{9}{4} - \dots - \frac{2n+1}{n} + \frac{2n+1}{n} - \frac{2n+3}{n+1}$

$= 3 - \frac{2n+3}{n+1}$

$S_{2n-1} = S_{2n} - \left(-\frac{2n+3}{n+1}\right) = 3$

よって $\lim_{n \rightarrow \infty} S_{2n} = \lim_{n \rightarrow \infty} \left(3 - \frac{2n+3}{n+1}\right) = \lim_{n \rightarrow \infty} \left(3 - \frac{2 + \frac{3}{n}}{1 + \frac{1}{n}}\right) = 1$

$\lim_{n \rightarrow \infty} S_{2n-1} = 3$

したがって、与えられた無限級数は発散する。

参考 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_{2n} = \lim_{n \rightarrow \infty} \left(-\frac{2n+3}{n+1} \right) = \lim_{n \rightarrow \infty} \left(-\frac{2+\frac{3}{n}}{1+\frac{1}{n}} \right) = -2 \neq 0$ であるから、与えられた無

限級数は発散する。

4

円 C_n に内接する正方形を A_n とし、 A_n をその1辺が x 軸に平行になるように作る。

円 C_n の半径を r_n とすると、正方形 A_n の1辺の長さは

$$2 \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot r_n = \sqrt{2} r_n$$

また、正方形 A_n の1辺の長さは $2r_{n+1}$ であるから

$$2r_{n+1} = \sqrt{2} r_n$$

すなわち $r_{n+1} = \frac{1}{\sqrt{2}} r_n$

$r_1 = 1$ であるから、数列 $\{r_n\}$ は初項1、公比 $\frac{1}{\sqrt{2}}$ の等比数列である。

ゆえに $r_n = \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \right)^{n-1}$

正方形 A_n の1辺の長さは $2r_{n+1} = 2 \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \right)^n$

よって $a_n = \left\{ 2 \left(\frac{1}{\sqrt{2}} \right)^n \right\}^2 = 4 \left(\frac{1}{2} \right)^n = \left(\frac{1}{2} \right)^{n-2}$

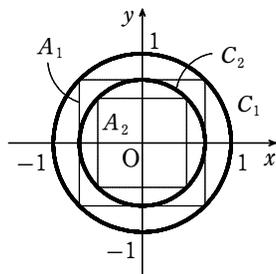
したがって $\sum_{n=1}^{\infty} a_n = \sum_{n=1}^{\infty} 4 \left(\frac{1}{2} \right)^n = \frac{2}{1 - \frac{1}{2}} = 4$

5

$\lim_{x \rightarrow 1} (x-1) = 0$ であるから、 $\lim_{x \rightarrow 1} \frac{a\sqrt{x+3} - 8}{x-1}$ が有限な値をもつためには

$\lim_{x \rightarrow 1} (a\sqrt{x+3} - 8) = 0$ であることが必要。

よって $a\sqrt{1+3} - 8 = 0$ すなわち $2a - 8 = 0$



したがって $a = 4$

このとき $\lim_{x \rightarrow 1} \frac{4\sqrt{x+3} - 8}{x-1} = \lim_{x \rightarrow 1} \frac{4(\sqrt{x+3} - 2)}{x-1} = \lim_{x \rightarrow 1} \frac{4((\sqrt{x+3})^2 - 2^2)}{(x-1)(\sqrt{x+3} + 2)}$
 $= \lim_{x \rightarrow 1} \frac{4(x-1)}{(x-1)(\sqrt{x+3} + 2)} = \lim_{x \rightarrow 1} \frac{4}{\sqrt{x+3} + 2} = 1$

よって、 $\lim_{x \rightarrow 1} \frac{4\sqrt{x+3} - 8}{x-1}$ は有限な値になる。

したがって $a = 4$

そのときの極限値は 1

6

[1] $-1 < x < 1$ のとき $\lim_{n \rightarrow \infty} x^n = 0$ であるから $f(x) = -x^2 + bx + c$

[2] $x < -1, 1 < x$ のとき $f(x) = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{\frac{a}{x} - \frac{1}{x^{2n-2}} + \frac{b}{x^{2n-1}} + \frac{c}{x^{2n}}}{1 + \frac{1}{x^{2n}}} = \frac{a}{x}$

[3] $x = -1$ のとき $f(-1) = \frac{-a-1-b+c}{2}$

[4] $x = 1$ のとき $f(1) = \frac{a-1+b+c}{2}$

$f(x)$ は $x < -1, -1 < x < 1, 1 < x$ において、それぞれ連続である。

したがって、 $f(x)$ が x の連続関数となるための条件は、 $x = -1$ および $x = 1$ で連続であることである。

よって $\lim_{x \rightarrow -1-0} f(x) = \lim_{x \rightarrow -1+0} f(x) = f(-1)$ かつ $\lim_{x \rightarrow 1-0} f(x) = \lim_{x \rightarrow 1+0} f(x) = f(1)$

ゆえに $-a = -1 - b + c = \frac{-a-1-b+c}{2}$, $-1 + b + c = a = \frac{a-1+b+c}{2}$

したがって $a = b, c = 1$